

1. 件 名：実機材研究に関する意見交換
2. 日 時：令和4年12月6日(火)14時00分～14時20分
3. 場 所：原子力規制庁15階居室
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁

長官官房技術基盤グループシステム安全研究部門

橋倉主任技術研究調査官※

池田技術研究調査官※

皆川技術研究調査官※

日本原子力発電株式会社：5名※

5. 要旨

原子力規制庁（以下「規制庁」という。）が実施する安全研究プロジェクト「実機材料等を活用した経年劣化評価・検証に係る研究」の「電気・計装設備の健全性評価に係る研究」（令和2年度～令和6年度）において使用する目的で、日本原子力発電株式会社（以下「日本原電」という。）から実際の原子力発電所で使用された電気ペネトレーションの貸与を受けるための調整を行った。

はじめに、日本原電より、令和4年12月23日までに東海第二発電所の電気ペネトレーション6モジュールの取外し及び搬出を行い、その後サーベイを行うスケジュールの説明があった。協議の結果、12月27日に日本原電東海第二発電所近郊において、日本原電から規制庁の委託先に対し電気ペネトレーションの引き渡しを行うことで調整することとなった。また、追加の電気ペネトレーション2モジュールについても同様に作業を進め、特に前述の6モジュールがサーベイの結果搬出及び引渡しが不可能となった場合は、令和5年1月11日頃を目処に引き渡しを行うこととなった。

また、上記引き渡しの状況に応じ、規制庁から日本原電に送付した貸与依頼書に対する回答書及び電気ペネトレーションの設置環境条件等の情報を日本原電から規制庁に送付いただくこととなった。

6. その他

資料：なし